

026

超高密度気象観測・情報提供サービス 「POTEKA」と、気象変化に応じて撮影間 隔を自動切替する河川撮影サービス

取組主体

明星電気株式会社

従業員数

345 人

想定災害

水害

実施地域

全国

- 気象観測データと気象情報をリアルタイムで提供する気象防災情報サービス「POTEKA」と、気象の急変や河川水位の上昇によって撮影間隔を短縮できる気象連動式クラウドカメラサービスの提供。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

超高密度気象観測・情報提供サービス「POTEKA」

- 気象観測機器、計測機器等のメーカーである明星電気株式会社は、小型気象計から毎分送信される8種類（気温、気圧、相対湿度、風向、風速、日射、感雨、雨量）の気象観測データに加え、アメダスや雨雲レーダ、危険度分布（土砂災害・洪水・浸水）等の気象庁から取得した気象情報を、POTEKA NET を通してリアルタイムで提供する気象防災情報 Web サービス「POTEKA」を独自開発し、地方自治体等に提供している。



POTEKA NET の閲覧画面例

気象観測データと連動し、河川等の様子を撮影する気象連動式クラウドカメラサービス

- 近年、気象災害が頻発化、激甚化しており、国や地方自治体では流域治水の一環として河川監視用の水位計やカメラの整備を進めている。
- 同社は、これらの施策を後押しすべく、令和3年4月より、POTEKA で取得する気象観測データとカメラ撮影画像を連動させることで、河川監視等の防災行動や判断の迅速化、効率化に貢献する気象連動式クラウドカメラサービスの提供を開始した。
- 本サービスでは、河川水位が上昇する前から、原因となる台風や集中豪雨の降水量を POTEKA で捉え、カメラと連動して河川水位の変化を監視する。気象の急変や河川水位の上昇が発生すると、自動的にカメラ撮影の間隔が短縮される。
- これにより、地方自治体においては、防災対策の初動を早め、余裕を持った関係部署間の情報連携や住民への情報伝達ができるなどの効果が期待できる。
- また、カメラ画像は POTEKA の気象観測データと同様に、POTEKA NET を通して一般住民へ公開することができるため、防災活動における住民の自助・共助の行動を支援することができる。



POTEKA の設置例

2 現状の課題・今後の展開等

- 同社は、約 1,000 か所に POTEKA を整備しているが、局地的な自然災害を捉えるためにはまだ整備台数が足りていないことが課題だと認識しており、より一層普及を進めていきたいと考えている。

担当者の声

- POTEKA の情報を閲覧することで自ら判断して迅速に避難等の行動をとれるよう、平時から活用していただきたいと思います。

問合せ先

明星電気株式会社 法人番号：2010001007784
TEL：0270-32-1111 FAX：0270-32-6505 E-Mail：cs@meisei.co.jp

サイト URL

